

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2023年度)

専門分野区分	ヒューマンスキル	科目名	ゼミナールⅡ					科目コード	TL002A1	
配当期	通年	授業実施形態	通常					単位数	2 単位	
担当教員名	清水 素彦	履修グループ	2A(KS/SI)					授業方法	講義	
実務経験の内容	プログラマ、システムエンジニアとしてIT企業で5年間、また、社内SEとして外食チェーン企業の情報システム部門で12年間にわたり、販売管理システムや物流システムなどの開発や導入・運用に従事した。これらの実務経験に基づき、実際的なプログラミングに必要な基礎知識やスキルを指導する。									
学習一般目標	<p>科目「ゼミナール」では卒業までの期間をとおして、卒業後に社会で活躍する為の実践力の習得を目指す。そのために、本科目「ゼミナールⅡ」では、IT系分野の業界・職種・仕事について考え仕事の面白さの理解を深めるとともに、実践力に必要な「職業観」等の「仕事マインド」を身に付けることを目標とする。</p> <p>①IT系分野の業界・職種・仕事を知り、キャリア概念をもつ。 ②「仕事マインド」を意識し、自己管理の習慣付けや学修・生活スタイルを確立する ③資格取得や情報リテラシーなど必要な知識を身に付ける</p>									
授業の概要および学習上の助言	まず、継続して授業に出席することをおして規則正しい生活習慣を確立する。そのうえで、これまでの経験を振り返って自己理解を深めるとともに将来の目標を定め、日々の成果を自己管理する。また、IT系分野の職種に対し、技術者の仕事内容を学び、働くことを「自分事」として捉えること。働くことの意味を考えることをおして「勤労観」や「仕事マインド」を醸成する。これらは日々の授業だけでなく、将来、専門職に就くことにも役立つので、授業以外でも自主的・自発的に取り組むことが望ましい。									
教科書および参考書	キャリアデザインノートⅠ、その他(プリントなどを適宜配付)									
履修に必要な予備知識や技能	特になし									
使用機器	各自の個人所有パソコンを使用する(必要に応じて指示する)									
使用ソフト	必要に応じて指示する									
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が到達すべき行動目標								
	2/3/4	IT系分野の職種(主に技術者)として必要な実践力を身に付けるために、専門スキルと仕事マインドの向上に取り組む姿勢を身に付ける。								
	1/2/4	技術者(主に企業で働くITエンジニア)に求められる職種や人物像を表現することができる。								
	1/2/4	働く意味や意義について自分の考えや意見を表現し、他者とコミュニケーションを図ることができる								
	3/5	ICTをとおして社会とのかかわりについて説明することができる								
達成度評価	評価方法	試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	学部DP	1.知識・理解			20					20
		2.思考・判断			20					20
		3.態度							15	15
		4.技能・表現			30					30
		5.関心・意欲							15	15
	総合評価割合				70				30	100

評価の要点	
評価方法	評価の実施方法と注意点
試験	
小テスト	
レポート	授業中に出題する課題に対する提出物の完成度を判断する。 (学校行事のほか、個人ワークやグループワークへの参加も含む)
成果発表(口頭・実技)	
作品	
ポートフォリオ	
その他	授業への出席、取り組みなどを含め総合的に判断する。

授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	学校生活をとおした学びの自己点検をすることができる	講義・演習	
第2回	学校での学びをとおした資格取得について、1年間の具体的な目標を立てることができる	講義・演習	
第3回	企業現場におけるコミュニケーションの特徴について説明することができる	講義・演習	
第4回	情報システムの設計や開発に携わる職種と仕事(タスク)について説明することができる	講義・演習	
第5回	情報システムの設計や開発に携わる職種と仕事(タスク)について説明することができる	講義・演習	
第6回	基本情報技術者試験、MOS試験など資格取得の計画を立てることができる	講義・演習	
第7回	ICT(情報通信技術)を活用したものづくりの事例を発見することができる	講義・演習	
第8回	学校生活をとおした学びを踏まえて、将来の進路、就職希望などを示すことができる	講義・演習	
第9回	学校生活をとおした学びを踏まえて、将来の進路、就職希望などを示すことができる	講義・演習	
第10回	IT 業界の動向(トピックス)	講義・演習	
第11回	IT 業界の動向(トピックス)	講義・演習	
第12回	目標に対する中間チェックとして結果を評価し、キャリアデザインノート「学修ポートフォリオ」を記述する	講義・演習	
第13回	各自の後期の学習計画を発表する	講義・演習	
第14回	学校生活をとおした学びを自己点検し、後期の具体的な目標を立てることができる	講義・演習	
第15回	自分が考える後期の学習計画を発表することができる	講義・演習	

第16回	校外行事への参加準備	講義・演習	
第17回	システム開発演習Ⅰの進捗、およびメディアフロンティアまでの計画を自己点検することができる	講義・演習	
第18回	学校での学びをとおした資格取得について、これまでの成果を評価し、今後の目標を立てることができる	講義・演習	
第19回	学校生活をとおした学びを踏まえて、将来の進路、就職希望などを示すことができる(個別面談)	講義・演習	
第20回	学校生活をとおした学びを踏まえて、将来の進路、就職希望などを示すことができる(個別面談)	講義・演習	
第21回	学校生活をとおした学びを踏まえて、将来の進路、就職希望などを示すことができる(個別面談)	講義・演習	
第22回	システム開発演習Ⅰの進捗、およびメディアフロンティアまでの計画を自己点検することができる	講義・演習	
第23回	進級・卒業に向けて、学校生活をとおした学びを自己点検する	講義・演習	
第24回	進級・卒業に向けて、学校生活をとおした学びを自己点検する	講義・演習	
第25回	目標に対する年間チェックとして結果を評価し、キャリアデザインノート「学修ポートフォリオ」を記述する	講義・演習	
第26回	各自の次年度の学習計画を発表する	講義・演習	